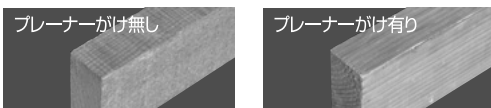


フクフォームルーフ

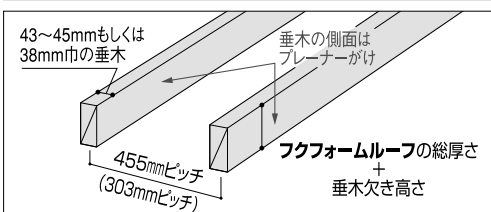
■施工前の事前確認

※次の下地条件・通気経路確保の条件を必ず守ってください。

- 屋根垂木ピッチは455mmもしくは303mmとし、垂木巾は43～45mmもしくは38mmとしてください。
- 垂木の側面はプレーナーがけを施して、なるべく平滑な状態にしてください。



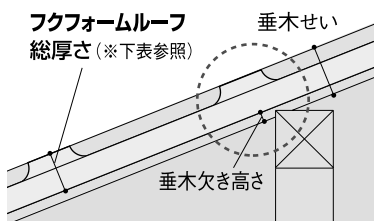
⚠注意 ●垂木側面が平滑でないと（ささくれた状態だと）フクフォームルーフがスムーズに充填できません。



- 垂木せい（高さ）はフクフォームルーフの総厚さ＋垂木欠き高さとしてください。（※例：垂木巾43～45×高さ90mm、垂木巾43～45×高さ105mm、垂木巾38×高さ89mm等）

■フクフォームルーフ総厚さ一覧表

	0830型	1230型	0845型	1245型	1545型	1845型
総厚さ	70mm	85mm	70mm	85mm	100mm	117mm



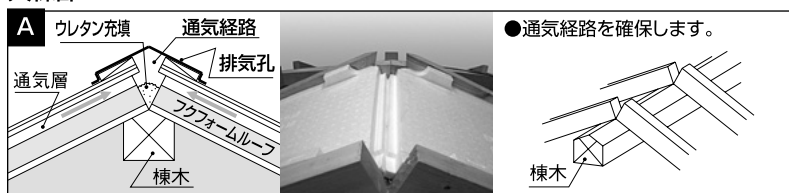
⚠注意 ●フクフォームルーフが母屋に当たらないように、垂木せいを設定してください。

■通気経路を確保するために

- 通気を行うために、軒側に吸気孔、かつ棟側に排気孔を必ず設けてください。
- 吸気孔から排気孔まで、通気層が連続してつながるようにしてください。

⚠注意 ●通気層が繋がっていないと、通気層内で空気がよどみ、結露が発生することがありますのでご注意ください。

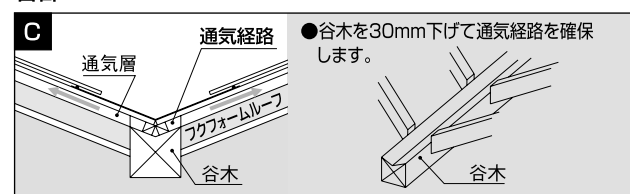
大棟部



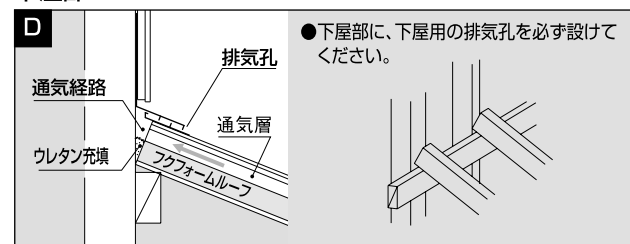
隅棟部（寄棟屋根の場合）



谷部

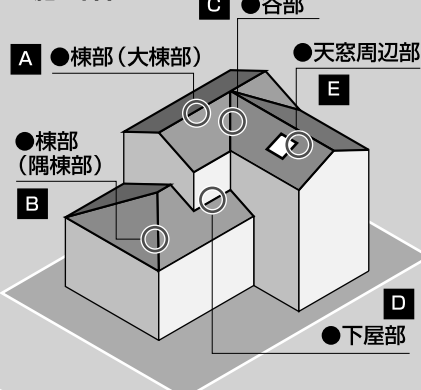


下屋部



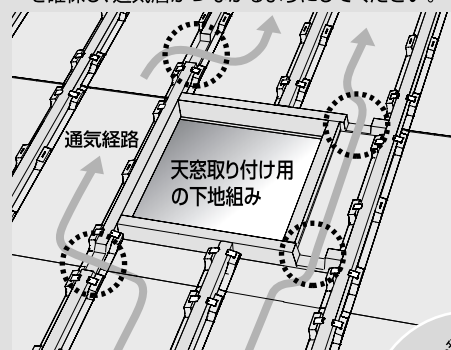
⚠注意 ●ウレタンを充填する際、通気経路をふさがぬようご注意ください。

■施工部位



E 天窓周辺部〈例〉

- 天窓下地や垂木を下図のように切り欠いて、通気経路を確保し、通気層がつながるようにしてください。

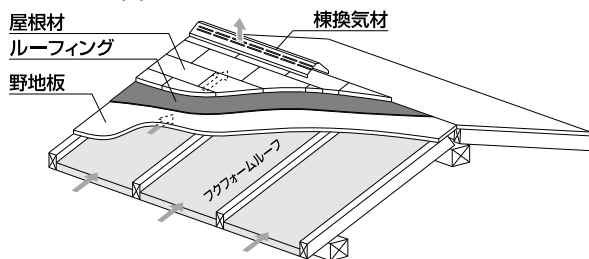


- フクフォームルーフの立ち上がり部が切り欠き部を遮る場合は、通気経路をふさがないようにカットしてください。

天窓下地および垂木

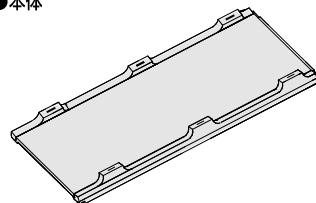
φ200mm程度
30mm

■イメージ図



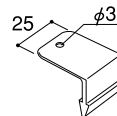
■構成部材

●本体



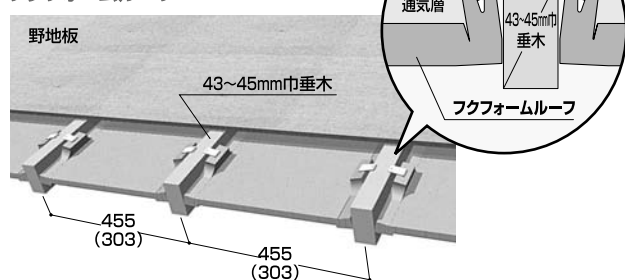
●ルーフホルダー

別売部材

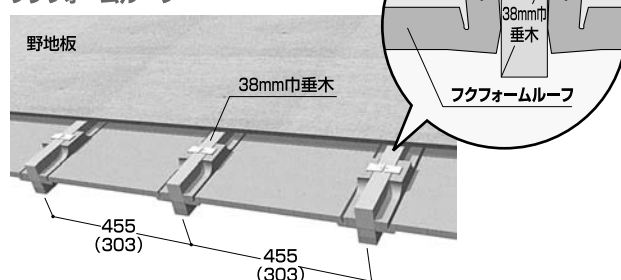


■施工要領

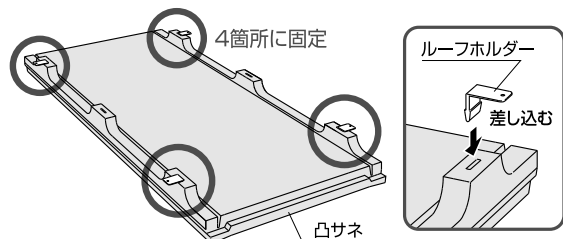
「43～45mm巾の垂木間」に充填されたフクフォームルーフ



「38mm巾の垂木間」に充填されたフクフォームルーフ



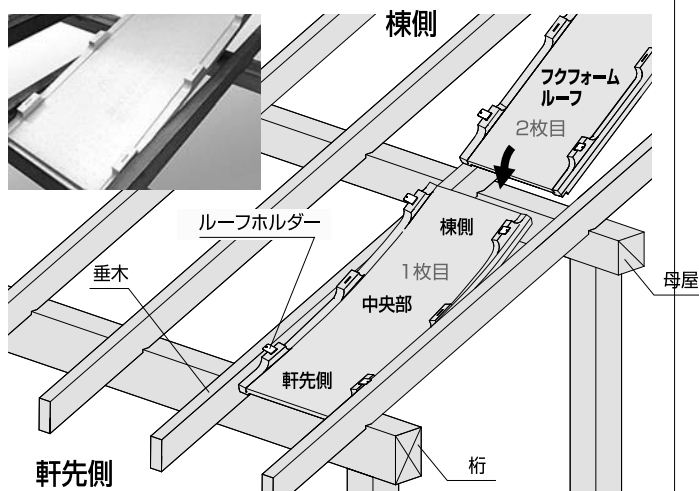
①フクフォームルーフにルーフホルダーを差し込んで固定してください。



②垂木との密着性を高めるため、若干強めの充填設定になっています。このとき、フクフォームルーフを一度に充填しようとせず、右図のように軒先側・中央部・棟側の順で徐々に充填してください。

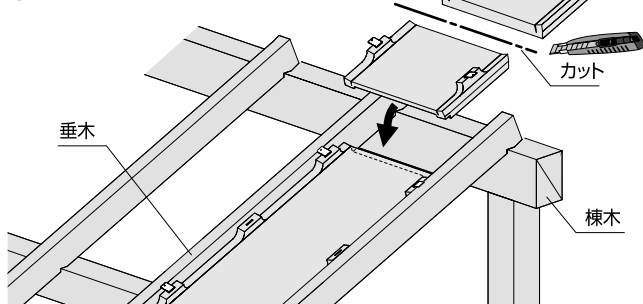


●手でスリットを開けながら、軒先側から部分的に充填していくとスムーズに納まります。

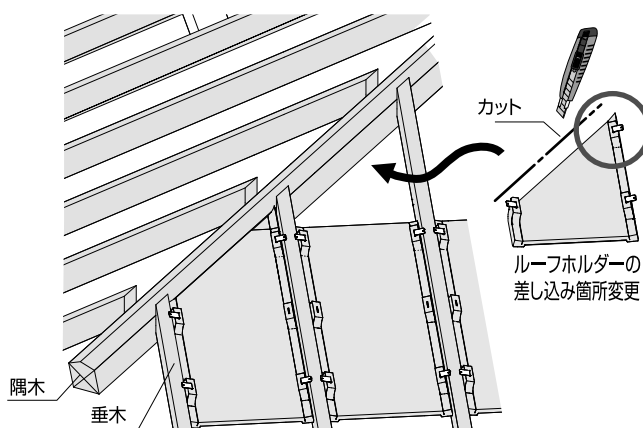


③下図のような場合はフクフォームルーフの付き合わせ部を適宜カットして、隙間なく納めてください。

④ルーフホルダーの釘打ちを行ってください。



※隅棟部・谷部へは、適宜カットして隙間なく納めてください。その際、ルーフホルダーの差し込みをフクフォームルーフを支持できる適当な箇所に変えてください。



●施工後、フクフォームルーフの上に乗ったり、重量物を載せると、フクフォームルーフが割れて落下する危険性がありますのでご注意ください。

■フクフォームルーフ仕様

タイプ	納まり寸法 (mm)		色	コード	梱 包	熱抵抗値 (m ² ・K/W)
	43～45mm巾の垂木	38mm巾の垂木				
0830型			オレンジ	FFR0830	1坪入 (12枚)	0.95
1230型			オレンジ	FFR1230	1坪入 (12枚)	1.25
0845型			オレンジ	FFR0845	1坪入 (8枚)	0.87
1245型			オレンジ	FFR1245	1坪入 (8枚)	1.20
1545型			オレンジ	FFR1545	1坪入 (8枚)	1.50
1845型			オレンジ	FFR1845	1坪入 (8枚)	1.83

※熱抵抗値：(財) 建材試験センターでの測定結果より

■別売部材 (フクフォームルーフ専用支持材)

※材質：ポリプロピレン

呼 称	色	コード	梱 包
ルーフホルダー	ホワイト	RH	5,600個 (32個/袋×175)

※ルーフホルダーは、フクフォーム全タイプ共通の専用支持材です。
 ※フクフォームルーフ1枚あたり、ルーフホルダー4個を使用目安としてください。

■フクフォームルーフ

各地域の左欄は必要な熱抵抗値 (m²K/W)、右欄はフクフォームルーフの種類です。

■【在来軸組工法 (充填断熱)】

省エネルギー 告示名称	住宅金融支援機構の 「フラット35」における 断熱構造基準	性能表示 基準	部 位	断熱性能【m ² ・K／W】									
				Ⅰ 地域		Ⅱ 地域		Ⅲ 地域		Ⅳ 地域		Ⅴ 地域	
				熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ
昭和55年告示 (旧省エネ基準)	≡ 融資要件	≡ 等級2	屋根または天井	大壁造 2.7 真壁造(天井) 3.1	—	1.2	1230型 1245型 1545型	1.2	1230型 1245型 1545型	0.8	0830型 0845型	0.5	0830型 0845型
平成4年告示 (新省エネ基準)	≡ 融資要件	≡ 等級3	屋根または天井	4.3	—	1.7	1845型	1.2	1230型 1245型 1545型	1.2	1230型 1245型 1545型	1.2	1230型 1245型 1545型
平成11年告示 (次世代省エネ基準)	≡ 優良住宅取得支援制度 (省エネルギー対策等級4)	≡ 等級4	屋根	6.6	—	4.6	—	4.6	—	4.6	—	4.6	—
			天井	5.7	—	4.0	—	4.0	—	4.0	—	4.0	—

※ソーバイフォー工法の場合の熱抵抗値を表します。Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ地域における省エネ一般型気密以外住宅に必要な熱抵抗値は (1.5) [m²・K/W]。それ以外は在来軸組工法と同じ熱抵抗値。

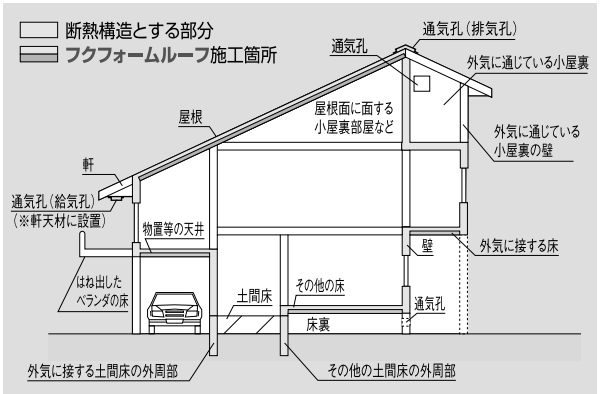
■地域区分

Ⅰ 地域	北海道
Ⅱ 地域	青森県 岩手県 秋田県
Ⅲ 地域	宮城県 山形県 福島県 栃木県 新潟県 長野県
Ⅳ 地域	茨城県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 富山県 石川県 福井県 山梨県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県
Ⅴ 地域	宮崎県 鹿児島県

地域区分は市町村レベル

※詳細は住宅金融支援機構監修の「木造住宅工事仕様書」をご参照ください。

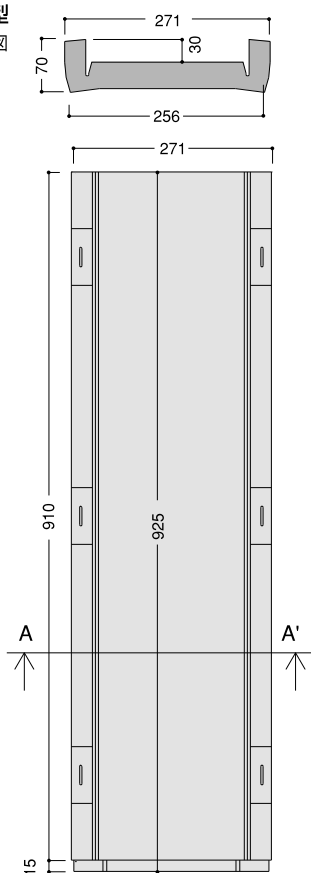
■断熱構造とする部分とフクフォームルーフの施工箇所



■フクフォームルーフ製品図 S=1/20

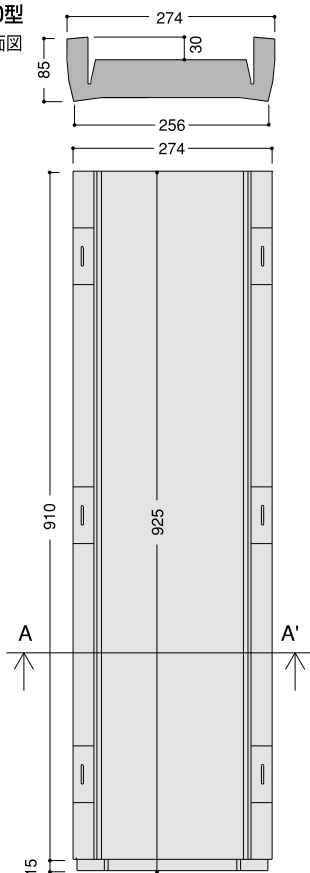
●0830型

A-A'断面図



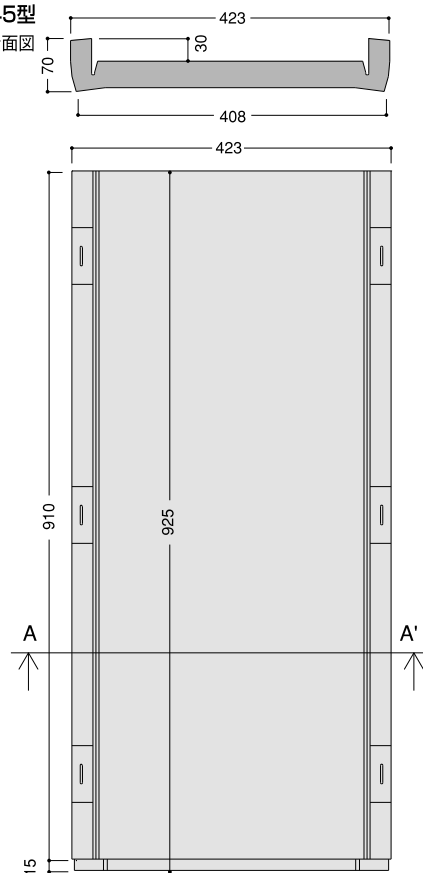
●1230型

A-A'断面図



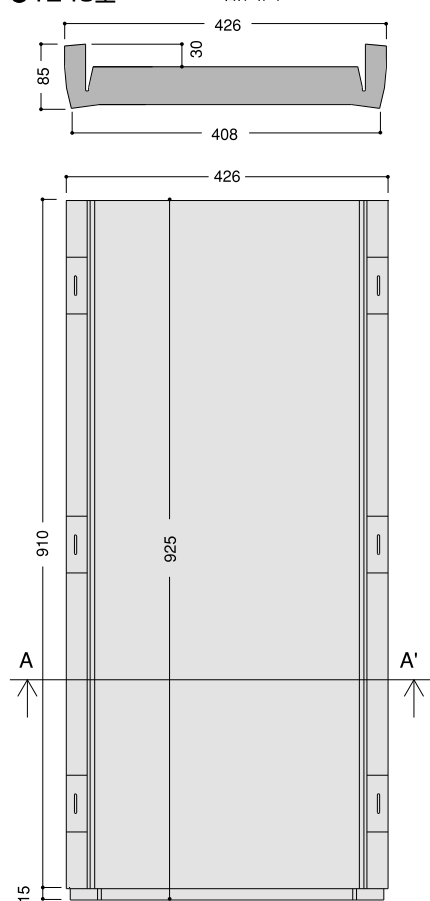
●0845型

A-A'断面図



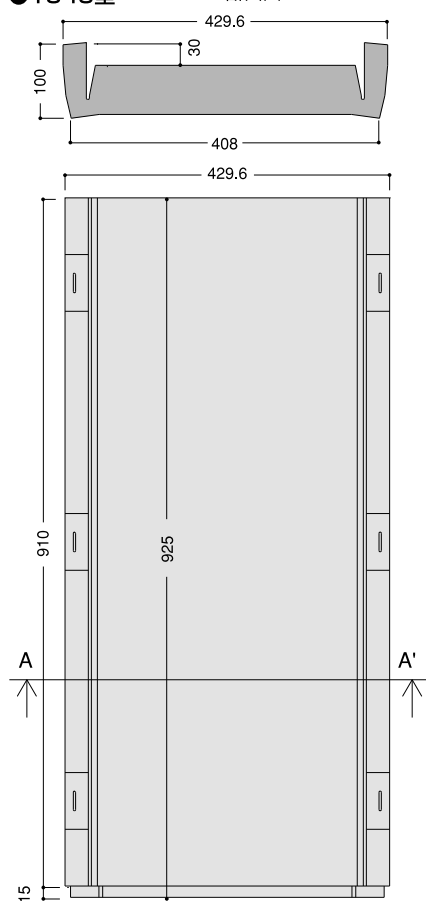
●1245型

A-A'断面図



●1545型

A-A'断面図



●1845型

A-A'断面図

